



V: 辞書形またはVない形

基 本

例 文

- ① <sup>がっこう</sup>この学校では、<sup>しょうがっこう</sup>小学校<sup>ねんせい</sup>3年生から<sup>えいご</sup>英語を<sup>べんきょう</sup>勉強することになりました。
- ② <sup>なかやま</sup>中山さんは、<sup>とう</sup>お父さんの<sup>てんきん</sup>転勤で、<sup>らいげつてんこう</sup>来月転校することになりました。<sup>そうべつかい</sup>みんなで送別会を開きましょう。
- ③ <sup>ことし</sup>今年の<sup>せいと</sup>生徒会長は、<sup>とうひょう</sup>投票の結果、<sup>けつ か</sup>山本さんになりました。
- ④ <sup>たいいく</sup>体育の日は、<sup>ひ</sup>2000年から、<sup>ねん</sup>10月10日ではなくって、<sup>がつ</sup>10月の<sup>だいい</sup>第2月曜日になりました。
- ⑤ <sup>ことし</sup>今年から、<sup>しけん</sup>試験の結果は<sup>けつ か</sup>発表しないことになりました。
- ⑥ A: <sup>たなか</sup>田中さんの<sup>ぶんかさい</sup>クラスは、<sup>なに</sup>文化祭に何をしますか。  
 B: わたしは、<sup>ば やしき</sup>お化け屋敷を<sup>た すうけつ</sup>やりたかったんですが、<sup>かんきょうもんだい</sup>多数決で<sup>はっぴょう</sup>環境問題について発表を  
 することになってしまいました。

解 説

A. 「Vこと」または「N」に決まると述べるときに使う。(例文①～⑥)

## 先生へ

「Vこと / Nになっています」は、<sup>き</sup>決まりなどを<sup>の</sup>述べるときに使う。

例1 <sup>がっこう</sup>学校へ<sup>く</sup>来るときは、<sup>せいふく</sup>制服を<sup>き</sup>着ることに<sup>な</sup>なっています。

2 <sup>びじゅつかん</sup>美術館<sup>なか</sup>の中では、<sup>しゃしん</sup>写真を<sup>と</sup>撮ってはいけ<sup>な</sup>ないことに<sup>な</sup>なっています。

「Nになります」には<sup>へんか</sup>変化を表す用法 (p.140) もあるので、<sup>れんしゅう</sup>練習を<sup>ちゅうい</sup>するとき注意すること。

例 <sup>おとな</sup>大人にな<sup>ら</sup>ったら、<sup>やきゅうせんしゅ</sup>野球選手にな<sup>り</sup>たいです。( <sup>へんか</sup>変化 )

<sup>よせん</sup>予選で<sup>か</sup>勝<sup>っ</sup>て、<sup>だいいょうせんしゅ</sup>代表選手にな<sup>り</sup>ました。( <sup>き</sup>決まったこと )

### 【関連項目】

- 活-03 V辞書形
- 活-04 Vない形
- 文-39 Aく / ANに / Nになります
- 文-74 Vこと / Nにします

### 【「れんしゅう編」の練習】

- 18-3 ボランティア
- 18-7 忙しい2学期
- 18-8 日本の学校行事